

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2024年2月1日 245号  
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



大工のプロフェッショナル 水落さん



調理のプロフェッショナル 皆川さん



来たれ!  
ミドル世代の開拓者

ドローンで撮影したレダの公館「水一荘」



レダで働くシニア、ミドル、若者たち。各世代が特質を活かして福地建設に奮闘中。1月8日、誕生会にて。

## 若者たちが見るレダのミドル世代

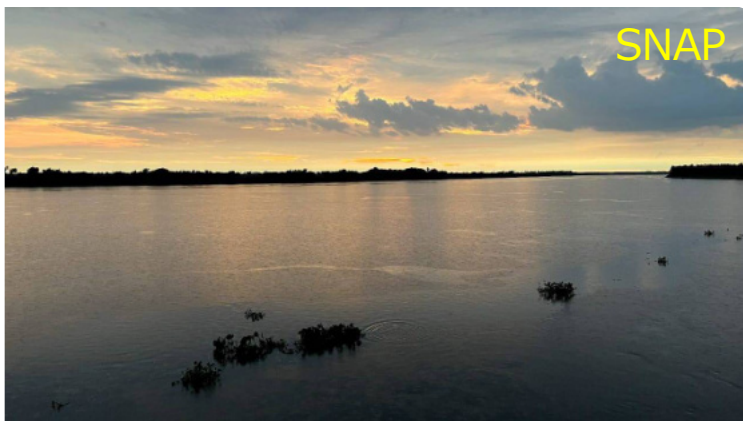
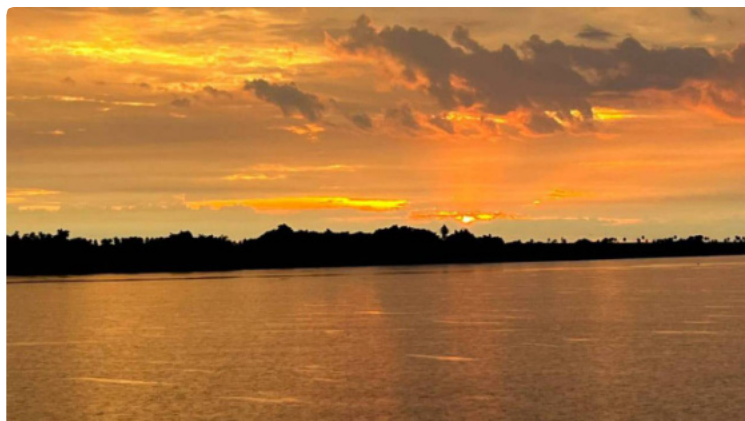
レダ開拓が始まった1999年8月、当時ミドル世代だった初代パイオニアたちが荒野開拓の任に就きました。翌2000年からは青年奉仕隊プロジェクトが始まりましたが、そのレダ滞在期間は1週間程度の体験学習レベルであり、極めて短期間でした。その後、レダで中・長期の活動をすすめる青年やミドル世代の派遣が徐々に増えていき、2022年「チャパボラ」一期生が赴任すると、青年ボランティアが一気に本格化しました。現在四期生までが現場で活躍しています。

しかし若者の多くは、人生をかけて取り組むべきものを探し求めている最中であり、それゆえ定着は難しく、また体力と意欲は十分なのに、経験や専門知識がほとんどないことが難点でした。他方、草創期の先輩たちは、豊かな内的素養と熱意を持っていましたが、新天地の建設に必要な知識や技能は、必ずしも十分ではなかったと聞きます。しかしながら現ミドル世代のスタッフは、社会人として数十年間、実務に携わってきたこと、また創造主への確かな信仰も培われていて、レダの現場で即戦力となり、開拓もすごいスピードで進んでいくことがわかりました。

ミドル世代の先駆けは水落さんで、木工技能の高さは地域でも有名。続いて山崎さんが担当する電力・電気機器、皆川さんによる食事関係等が短期間のうちに一気に改善しました。また西永さん、岡崎さんによって養殖、ものづくりもプロジェクトとして本物になってきたことを思うと、具体的に理想村が建設できる時が来たことを思います。

若者から見ても、ミドル世代から実体的に活気を感じたり、色んな学びがあり、私たちにはない知識や経験を活かし、レダにとってなくてはならない存在だと感じるものが多くあります。また何歳になっても夢を持ち続け頑張っている姿を見て、何を始めるにも年齢は関係ないことを感じます。

子供を持つ方には難しいかも知れませんが、子供が独立したミドル世代にとって、今まで培ってきた自分の能力を活かし、直接最前線で貢献できる場はとても貴重であり、誇りになるのではないかと思います。レダで人生の第二ステージを思い切ってスタートしてはどうでしょうか。(木塚記)



2024年元旦の黎明。静かに流れるパラグアイ川の岸辺にて。1月1日



レダで働く人々みんなのクリスマス会。白い袋の中身はビンゴゲームの賞品。参加者全員がビンゴ！ 12月17日



島田家の長女(左)の誕生祝い。お兄さんたちがお菓子を準備。1月15日 年末年始にレダを訪れたパブロさん一家。12月31日



皆川さん(左)の技を学び取ろうとするチャパボラ。



お雑煮。皆川さん作。1月1日



年越しそば。12月31日

# レダで働く人々

大元勲治氏は、レダ開拓の草創期以来のベテランパイオニアの一人です。レダで農業に取り組む大元氏を、チャパボラ青年の黒田君がインタビューしました。

## 換金作物・樹木の育成に挑戦中

Q なぜレダで農業をしようと思ったのですか？

A 農業が大好きだからです。元々実家が農家で温州みかんの栽培をしていました。またそれ以外の野菜や花なども作ってみたいという思いが子供の頃からあり、遊びで挿し木や接ぎ木などやっていました。まあ、子供の頃は簡単なもの以外はできなかったです。すけどね(笑) なんと言いますか、農業そのものが好きだったんです。

また、レダは8万ヘクタールもある土地で、どのような形で有効利用していくのかということを考えてときに、やはり、農業か林業か牧畜をしない限り8万ヘクタールは要らないだろうと考えました。私自身、林業や牧畜はそんなに身近ではなかったので農業をしようと思いました。

また私は何回かレダに来ていて、以前から農業をしたいと思っていました。しかし当時の都合により、



カボチャの収穫にて、中央が大元氏。

させてもらえませんでした。でも今回は、「私は農業がしたい」と自己主張してレダに来ました。それは自分の体力と相談したら、そう何回もこのレダに来ることではできないと思うと、福地として選ばれたこの土地で、最後に農業をやってみ



たいという思いが募ったのです。こういう動機を強く持つてこの地に来ました。

Q 今現在取り組んでいる内容を教えてください。

A 今現在取り組んでいるのは、この地域に適した作物を育てることです。レダに来る前に「レダに行ったらどんな作物を育てようか、どのような農法にしようか」と考えてきた上で実行したのですが、すべて育つことなく枯れてしまったんですね。それで、



収穫のマンジョーカの実習生ととも。

これではいけないと思って、この地で育つ作物を育てようと思いい、最初に植えたのがマンジョーカ(マンデイオカ)という根菜でした。またそれ以外に、サトウキビなどの栽培にも挑戦してきました。

しかし、レダの『自立』という重要な命題において、マンジョーカやサトウキビを作っても、その後の展開がないことに気づいたのです。このレダで『自立』をするためには換金作物を作らないといけないと考え、現在は綿花栽培に挑戦しています。

また農業以外に林業も行っています。レダ開拓の理念にも「植樹」の内容はあるのですが、もう一歩考えを進めて、植えてから10年・20年後にお金になる木、要するに有用材になる木を今後このレダに残していく必要があると思います、そのための苗木を植えています。具体的には、ラパーチョ、アルガロポ、ケブラッチョ、パロサント、タマリンド、ニセアカシアの苗木を用意して、これからのように挿し木、接ぎ木すれば安定的に、また大量に育成させることができるのか挑戦しようとしている最中です。



タマリンドの苗木。



ニセアカシアの苗木。



ラパーチョの苗木。

は何ですか？

A なんとと言っても暑い！

雨が降らない時期(乾季)が長い！またレダの大地は粘土質で、日本とは全然違う！この三つでしょうね。日本で

は農地に干し草や腐葉土を混ぜ込むことで土質を改良できるのですが、粘土質であるレダの土壌は、干し草をたくさん入れても一向に良くなりません。ただ、木から落ちたばかりの葉や木の枝を使うと非常に良かったので、現在は土の中に葉と木の枝を混入しています。

Q 農業を通してどのような喜びがありますか？

A レダではパクーの孵化をしていて、それはとても神秘的なのですが、私にとっては植物の種から芽が出て、花が咲き、作物を実らせ、また種を自らつくる。このサイクルが非常に神秘的であり喜びでもあります。

Q 今後レダの農業に興味・関心を持っている方にメッセージをお願いします。

A 予め整った環境で農業をやりたいと考えている人には、レダは難しい環境ですが、ゼロからやっていきたいと考えている人、志のある人には大きな土地で行うことができるので、そういう意欲のある方に来てほしいと思っています。「私は農業をやってみよう！」と心から思っている人はぜひ来てください！

LINEグループ「パンタナールとレダ」にて発信中。



## レダの電気屋さん

【第7回】 前々回、商用電源の電圧変動の話を紹介しました。その中で電圧安定器というものを紹介させていただきました。

しかし、電圧安定器を、すべての電気機器に取り付けるのは、現実的には無理があります。例えば、天井の照明器具などでは、電圧安定器を置く場所がありませんし、台数もかなり必要になってきます。また、エアコンなども設置場所の問題に加えて、消費電力が大きいため、電圧安定器も大きく高価なものになります。電圧安定器そのものも故障することがあることを考えると、あまり良い選択とは思えません。

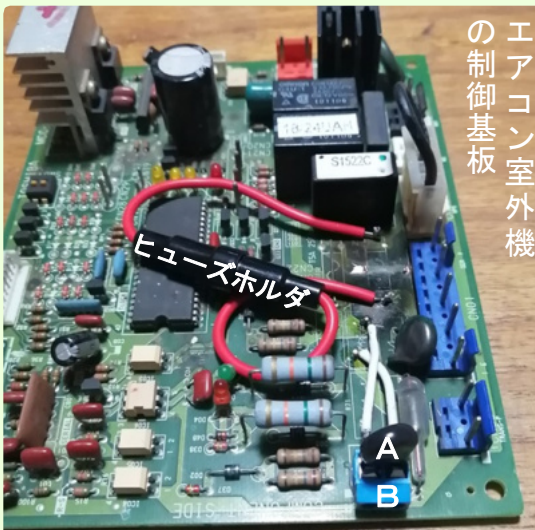
そんな中、実はセパレートタイプ（室内機と室外機がわかれているタイプ）のエアコンは、経験上、過電圧で故障する部品が決まっており、その部品を交換すればほとんどの場合、直ります。

その部品を付け替えるために、以前は、室外機の基板を取り外していたのですが、現在は基板を少し加工して、基板を取り外さずに、部品の取り換えができるようにしました。これにより、作業効率が大幅に改善しました。とは言え、故障することには変わりはないので、もう少し良い方法を考えようと思っております。（山崎茂章）

LINEグループ「山崎@レダ」にて発信中



エアコン室外機の制御基板



過電圧事故ではZNR素子(A)とヒューズがよく壊れる(その結果、他の重要な回路は護られている)。これら2部品の交換を容易にするため、ZNRねじ端子(B)とヒューズホルダを基板に取りつけた。

**初詣** 二丁目、パラグアイ川に初詣に行ったら、神様からお年玉をいただきました。ドラド14匹とピンタード2匹です。初詣というのは、釣りのことです。一日でドラド14匹は、過去にない記録かと思われれます。今年も一層励んでまいります。（水落さん談）



ドラド76cm：自己最高記録



ピンタード76cm、71cm

## 第27回ワンデイセミナーのご案内

本年最初のパンタナール・ワンデイセミナーを左記の要領で開催いたします。詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

日時…2024年4月6日(土) 午前9時45分～  
会場…国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟(東京都渋谷区代々木神園町3-1)  
参加費…2000円(昼食付き)

プログラム(予定)…提唱者の思想と開拓史、レダプロジェクトの現状とビジョン、青年の活動、分科会主催…一般社団法人 南北米福地開発協会

**前回参加者の声** ■若者たちの生々しい体験が聞けてよかった(Kさん、女) ■青年の言葉に、涙が出そうでした(Yさん、女) ■一度はレダの地に行った方が良いと思いましたが(Eさん、男) ■自分が行けなければ、子供、孫に行かせてあげたい(Sさん、男) ■微力ではありますが協力してまいります(Oさん、男)

## 能登半島地震

このたびの激甚な災害で尊い生命を失われた方々のご冥福を謹んでお祈りいたします。またご遺族をはじめ、被災されたすべての方々に、心よりお見舞い申し上げます。そして被災地の復興が一日も早く成りますよう、祈願申し上げます。

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

## レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリップファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>

## レダのショート動画

1. 元日の夕方に恵みの雨。1月1日
2. 巣箱に出入りするジャテイ蜂。1月3日
3. ジャテイ蜂の蜜を搾る。1月3日
4. 稚魚を池に移動するため、孵化器から取り出す作業。1月8日

